

福岡人工島

396億円借金穴埋め 三セク救済やめよ 博多港開発

日本共産党・赤嶺議員が衆院委で福岡市への指導を国に要求

日本共産党の赤嶺政賢衆院議員は2月25日、衆院予算委員会第2分科会で、福岡市の第三セクター「博多港開発」がすすめる人工島事業について質問。KBC(九州朝日放送=写真)でも放映されました。以下、質問の要旨です。



安易な救済でなく、きちんとした対応がされるよう指導していく(大臣)

赤嶺政賢衆院議員
博多港開発の経営状況は

破たんした事業を市が直轄し、市の一般会計から支出をすべきでない(赤嶺)

赤嶺政賢衆院議員
第二工区埋め立て事業の譲渡代金396億円を、市は全額起債(借金)で賄うために、総務省に申請した。その返済計画は土地処分費用で56億円の黒字と試算しているが、博多港開発が担うべき道路・下水道などのインフラ整備に市の一般会計から115億円も肩代わりする計画で実態は赤字だ。

赤嶺政賢衆院議員
博多港開発の経営状況は

赤嶺政賢衆院議員
博多港開発の経営状況は

赤嶺政賢衆院議員
博多港開発の経営状況は

人工島の是非、住民投票で条例制定もとめる署名8万3千筆を市へ提出

「人工島 住民投票条例を求める会」が取り組んだ福岡市の人工島、住民投票条例直接請求署名は、直接請求に必要な数を大きく上回り、8万3053筆に、3月1日に市へ提出されました。

「人工島はみんなおかしいと思っている」「大事なことは自分たちで決める」日本共産党は、署名に託された思いにこたえるため、市民とともに住民投票条制定へ力を尽くします。



1月13日、福岡市の人工島住民投票条例を求める会と懇談する仁比聡平参院議員(写真中央)と山田ひろこ(左)と福岡2区国政対策委員長(右)